



平成28年10月26日

各 位

会社名 日本車輛製造株式会社  
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 一弘  
(コード：7102 東証、名証第1部)  
問合せ先 執行役員総務部長 垣屋 誠  
(Tel. 052 - 882 - 3316)

## 平成29年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年7月26日に公表しました平成29年3月期第2四半期（累計）および通期の業績予想につきまして、本日公表の「受注案件における損失発生および価格調整金の計上に関するお知らせ」の影響および最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年3月期第2四半期（累計）については本日発表の実績値との間に差異が生じたほか、通期の業績予想については下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成29年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と実績値との差異 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 54,000	百万円 △ 900	百万円 △ 900	百万円 △ 1,000	円 銭 △ 6.93
実績値(B)	50,930	△ 4,403	△ 4,022	△ 4,169	△ 28.88
増減額(B-A)	△ 3,070	△ 3,503	△ 3,122	△ 3,169	—
増減率(%)	△ 5.7	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期連結実績 (平成28年3月期第2四半期)	53,330	△ 4,593	△ 4,717	△ 10,057	△ 69.67

#### 2. 差異の発生理由

連結業績について、売上高は鉄道車両事業の売上の下半期への繰り下がりがあり減少しました。利益につきましては、本日発表の「受注案件における損失発生および価格調整金の計上に関するお知らせ」のとおり、米国向け大型鉄道車両案件における追加の損失引当の計上並びにインドネシア向け大型鉄道車両案件における損失引当の計上などで悪化しました。一方で、国内事業の業績が良化したことから、その悪化額は縮小しました。

3. 平成29年3月期通期の連結業績予想値の修正  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	△ 2,800	△ 2,800	△ 3,000	△ 20.78
今回修正予想(B)	100,000	△ 14,800	△ 14,300	△ 13,900	△ 96.29
増減額(B-A)	0	△ 12,000	△ 11,500	△ 10,900	—
増減率(%)	0.0	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成28年3月期)	111,006	△ 10,171	△ 10,173	△ 16,129	△ 111.74

4. 平成29年3月期通期の個別業績予想値の修正  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	△ 2,800	△ 3,000	△ 20.78
今回修正予想(B)	87,000	△ 14,500	△ 14,100	△ 97.67
増減額(B-A)	0	△ 11,700	△ 11,100	—
増減率(%)	0.0	—	—	—
(参考) 前期個別実績 (平成28年3月期)	92,098	△ 8,329	△ 17,425	△ 120.71

5. 修正の理由

通期連結業績は、第2四半期の差異の発生理由に加えて、下半期においても米国向け大型鉄道車両案件についての損失引当の計上のほか、過去に納入した台湾向け鉄道車両案件の不具合への対応費用などが予想されることから、利益は悪化する見通しです。一方で、国内事業の業績は良化する見通しから、その悪化額は一部抑えられる見込みです。

個別業績についても、米国向け大型鉄道車両案件の損失引当の計上により、当社米国子会社のNIPPON SHARYO U. S. A., INC. の業績が悪化し、同社への価格調整金の支払額が大幅に増加する見込みなどから、利益は悪化する見通しです。一方で、国内事業の業績は良化する見通しから、その悪化額は一部抑えられる見込みです。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以 上